

* 国民読書年記念 *

図書館と県民のつどい埼玉 2010



文字・活字文化の日(10月27日)制定を記念し、図書館サービスの向上と読書活動の推進を図るため、県民とともに図書館のあり方を考える「つどい」を開催します。「子ども読書活動交流集会」も、この事業の一環として同時開催します。

日時 平成22年10月2日(土)

10:00~16:00

会場 さいたま市文化センター

申込締切 9月18日(土)必着

※詳細は、チラシや埼玉県立図書館のホームページ等でご案内します。

◆問い合わせ

埼玉県図書館協会事務局
(県立浦和図書館内)

〒330-0063

さいたま市浦和区高砂3-1-22

電話: 048-829-2821

FAX: 048-829-2979

★★★講演会・分科会のご案内★★★

午前 (10:00~11:45) 記念講演

「本と出会う楽しみ 再会する喜び 知り合う深さ」

講師 落合恵子氏(作家・東京家政大学特任教授)

午後 (13:30~15:30) 子ども読書活動交流集会

分科会1 シンポジウム「応援しよう!子どもの読書」

分科会2 ふしぎ発見!~科学の本と科学あそびを楽しもう

分科会3 わらべうたであそぼう~耳からはじまる児童文学~

分科会4 読み聞かせ講座「よむ・くむ・たのしむ!」

全日 大学・高校・公共図書館部会(展示)

◆大学図書館 ~大学図書館のお宝お見せします~

◆高校図書館 Welcome! 高校図書館2010

◆公共図書館 “わたしたちはあなたの一步を応援します”

~ご存じですかお仕事支援~



《目次》

- 「私の願いー広がれ読み聞かせの輪」・・・1
- 連載:おはなし・読み聞かせ実践講座⑩・・・1
- 連載:子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介⑩・・・2
- 新聞・雑誌クリッピング担当から・・・2
- ブックリスト担当から・・・3
- インターネットからの情報収集担当から・・・3
- 図書館と県民のつどい埼玉2010・・・4
- 読み聞かせボランティア団体のための講師派遣・・・4

子ども読書支援情報誌

しえん

Shien 第10号

子どもの読書に関わる大勢の方の活動とネットワークを支援(Shien)するそんな大きな願いをもったささやかな情報誌です。

平成22年9月1日 発行

埼玉県立久喜図書館 子ども読書支援センター

私の願いー広がれ!読み聞かせの輪



地域の小学校で読み聞かせを始めて10年。子どもたちがお話を楽しみ、本に親しんでくれることが一番と思いつつ、心の奥で「みんなもいつかは絵本を手渡せる大人になってね。」とエールを送ってきました。子どもと子どもの本の未来のために、私たちが蒔いた種から、やがて芽が出て、花が咲く。読み聞かせボランティア共通の願いだと思いますが、私は最近、もう少しの頑張りで、それが叶うような予感がしています。

私の所属する勉強会が立ち上げられた10年余り前は、「私は親に本を読んでもらった経験がないので、ここで学び、我が子に読んであげたい。」という参加者がほとんどでした。ところがここ数年、「自分が子どもの頃に読んでもらった絵本を、子どもに読んでいます。」と言って、好きだった絵本の思い出を語ったり、新しい絵本との出会いを求めに来たりする若いお母さんたちの参加が徐々に増えてきています。

小学校でも、ただ聞いているばかりでなく、自分も読み聞かせがしたいという子が増え、高学年の図書委員が低学年に読み聞かせをするようになりました。(意外に男の子が多いのです!)

私は今、私たちの後を追いかけてきてくれる若い人たちが確実に育っているのを感じています。こうして読み聞かせの輪が広がっていき、子どもと子どもの本を愛する心が、新しい世代へ受け継がれていくことを期待しています。

読み聞かせボランティアF

おはなし・読み聞かせ実践講座⑩

このコーナーでは「おはなしボランティア指導者」の皆さんによる、おはなし会を行う上でのワンポイント・アドバイスをリレーでお届けします



初めてお話をする人に向く話

初めてお話をする人は、昔話から始めることをおすすめします。耳で聞いて理解しやすく、心の奥深くへ働きかける力を持っています。

私の好きな昔話を7つ紹介します。

●**おおかみと七ひきの子やぎ** 有名なグリムの昔話。おおかみが井戸に落ちて死ぬ結末が、小学生に喜ばれました。『おはなしのろうそく18』(9分)

●**かちかち山** 日本の五大昔話のひとつ。高齢者施設で話した時に、お婆さんが「ええ話じゃ」と頷きながら聞いてくれました。『おはなしのろうそく10』(11分)

●**北風をたずねていった男の子** ノルウェーの昔話。みんな主人公になって聞いてくれます。『子どもに語る北欧の昔話』(12分)

●**金の髪** コルシカの昔話。娘の乗った馬が走り出すと、聞き手も一緒にお話の世界に入っていきような感じを味わいました。『おはなしのろうそく19』(11分)

●**クルミわりのケイト** イギリスの昔話。みどりの丘の妖精の舞踏会に三晩出かけて活躍するのは、めずらしいことに姉嬢の方です。『おはなしのろうそく10』(11分)

●**小鳥になった美しい妹** ギリシャの昔話。真珠、バラの花と彩りも美しく小鳥の歌が印象的なお話です。『おはなしのろうそく7』(13分)

●**ヤギとライオン** トリニダード・トバゴのお話。小学校で話した日、下校時にヤギの歌を歌っている子ども達に行き合いました。『子どもに聞かせる世界の民話』(6分)

お話を通して出会いがあり、お話に慰められ励まされて続けてきましたが、私も、まだまだお話の海へ乗り出したばかりです。冒険をおそれずに、たくさんのお話に出会い、自分の好きなお話を見つけ出して、幸せなひとときを体験してみてください。

★参考図書

- 『おはなしのろうそく ⑦⑩⑪⑬⑯』 東京子ども図書館
- 『子どもに語る北欧の昔話』 こぐま社
- 『子どもに聞かせる世界の民話』 実業之日本社
- 『たのしいお話』 お話のリスト3 選ぶこと
- 『おはなし会ガイドブック』 こぐま社
- 『昔話入門』 小澤俊夫編著 ぎょうせい
- 『子どもにとどく語り』 藤井いづみ

米田佳子(おはなしボランティア指導者養成講座修了生)

読み聞かせ・ストーリーテリング

初心者向け研修会に講師を派遣します

(読み聞かせボランティア団体のための講師派遣)

絵本の読み聞かせやストーリーテリングの初心者向け研修会に、

埼玉県立久喜図書館で養成したおはなしボランティア指導者を派遣します。

研修会の開催方法は県立久喜図書館がサポートいたしますので、お問い合わせください。研修会開催の1カ月前までにお申し込みください。

詳しい申込み方法・ご案内はこちらまで。

https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/ko_shien/shien1.html

編集後記

小さな子と一緒に歩くと道草、寄り道、あともどり。

ただ、一緒に歩ける時期は、実はそう長くはない。

その宝物のような時間を大切に…。

(職員Y)



編集発行 埼玉県立久喜図書館
子ども読書支援センター
協力 子ども読書支援ボランティア

埼玉県立図書館のホームページ 「子ども読書支援サービス」
<https://www.lib.pref.saitama.jp/>

〒346-8506 埼玉県久喜市下早見85-5
TEL 0480(21)2659 (代)
FAX 0480(21)2791



久喜北陽高校図書委員会 子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介 ⑩

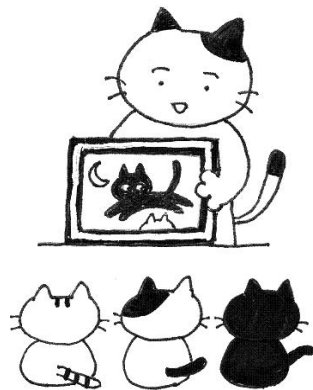
2007年度より、希望する図書委員が、白岡町立図書館の主催する「おはなし会」への協力として、絵本の読み聞かせボランティアを行っています。

- ★ いつ：毎月第3土曜日 11:00～11:30
- ★ だれが：希望する図書委員（1回3名位）
- ★ どこで：白岡町保健福祉総合センター内 東児童館

一週間位前に、白岡町立図書館広辺司書が選書した絵本を6冊程度学校に持って来てくれるので、担当の生徒は一人2冊程度決め、学校や家で練習して当日に臨みます。

生徒に感想を聞くと、「とても楽しい。子どもたちが身を乗りだして一生懸命聞いてくれるので、緊張するが、嬉しくなる。」と、言います。今後、この経験を図書委員会活動に、そしていろいろなところに活かしてもらいたいです。

金子（県立久喜北陽高校司書）



きいぬき羅針盤

新聞・雑誌クリッピング担当から

今回ご紹介するのは、幼児期から読書の習慣についての記事です。

読売新聞（朝刊2010年3月16日16頁）掲載

国内で図書館の乳幼児向けの取り組みが注目されたのは、1980年代。当初は4、5歳くらいの子を対象にしたお話会が中心だったが、乳児も話に反応したり、喜んだりすることが知られるようになり、対象が広がったという。

また、2001年に始まった「ブックスタート事業」が広がったことも乳児の読み聞かせの活動を定着させている。

オランダ・ハーグに本部のある国際図書館連盟は2007年に「乳幼児への図書館サービスガイドライン」を作成。日本図書館協会が翻訳して昨年出版した。

ガイドラインは、「話しかけ、読み聞かせをすることが、乳幼児の言語習得にとって大きな影響を与える」とし、「子どもたちとその世話をする人たちが集まり、交流できる場所を提供する」ことなどを図書館の目標に掲げている。

この中では、図書館向けにサービスのチェックリストも掲載。「図書館利用に際し、乳母車などが通行できる」など24項目を挙げている。

こうした乳幼児向けサービスを進める上で、スタッフの養成も課題の一つだ。

「絵本についての知識、子どもとの接し方、親に対する配慮など、スタッフには専門性が求められる」と日本子どもの本研究会理事で、埼玉県三芳町立中央図書館副館長の代田知子さんは指摘する。

赤ちゃんでも図書館は利用できる。せひ、楽しんで!!

井上（子ども読書支援ボランティア）



使えるブックリスト フックリスト担当から



前回到続いて「10分以内の本」〈夏〉〈秋〉のおすすりリストができあがりました。本を読むのに良い季節になる〈秋〉のリストから紹介します。

低学年

『きえたおかしなまき-ゆかいなさんにんきょうだい』
（たかどのほうこ作・絵／アリス館）
『しろとくろーしりとりあそび』
（星川ひろ子・星川治雄著／小学館）
★どちらもシリーズもので、他にも2冊ずつあります。組み合わせを変えて読んでみるのも、楽しいと思います。
「ゆかいなさんにんきょうだい」 「しりとりあそび」
『すごいはたきのまき』 『あか・みどり・き』
『なきむしぞうきんのまき』 『ちやいろ』

中学年

『7日だけのローリー』
（片山健作／学習研究社）
★まよい犬にローリーと名前をつけたぼくと家族の物語。
『ぎゅうぎゅうかぞく』
（ねじめ正一作／鈴木出版）
★テンポ良く読んでみてください。

高学年

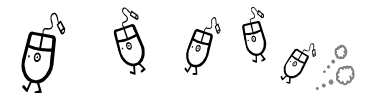
『わたり鳥』
（七尾純／あかね書房）
★フォト紙芝居 かがくのアルバムシリーズ。
高学年でも満足できる内容だと思えるので、他の季節向けも読んでみてください。

中学生

『あくま』（谷川俊太郎詩／和田誠絵／教育画劇）
『死神さんとアヒルさん』（ヴォルフ・エアルブルッフ作・絵／草土文化）
★内容はシュール…。でも、中学生ならわかってくれるはずと思いますが…。

短いお話の本も、毎回、何冊か候補にあがりますが、組み合わせをする段階でしかたなくはずす場合もあります。その中から1冊おすすり本を紹介します。
『よぞらを見あげて』ジョナサン・ビーン作／ほるぷ出版（3分強）是非読んでみてください！
二橋（子ども読書支援ボランティア）

知っ得情報!



インターネット情報からの情報収集担当から

*** おすすりHP (ホムンズ) の紹介 ***

- ☑ 講談社絵本通信 <http://shop.kodansha.jp/bc/ehon/index.html>
絵本に関するサイト。“よみきかせ”の中の「パパとママの読み聞かせ日記—おうちで絵本を読んでみた!—」は編集者の家庭での読み聞かせの様子をリレーで紹介。
- ☑ どくしょ応援団 <http://www.asahi.com/shimbun/dokusho/>
“読みきかせ応援団”「ママ・パパ・祖父母向け、おすすり本を紹介」ではママ編・パパ編・祖父母編に分けておすすり本を紹介。
- ☑ イクメンクラブ <http://www.ikumenclub.com/>
“イクメン読み聞かせ7つのコツ”ではお父さんに向けて読み聞かせのコツを紹介。イクメン以外の人にも参考になります。

最近見かけるようになった、おじいちゃん・おばあちゃん対象の読み聞かせの講座のお知らせ。小川町立図書館のHP (<http://www.lib.ogawa.saitama.jp/>) のコラム『孫との読書』（平成16年度）のようなお孫さんとの時間を過ごされる方も増えてきているのでしょうか。そこで今回は、家庭での、お母さん以外の人の読み聞かせについて載せているHPを取り上げてみました。

大澤（子ども読書支援ボランティア）